2024.06

コーティングオプション
作業マニュアル

- ●レンズコーティング
- ●ホイールコーティング（シングル・ダブル・マットホイール）
- ●無塗装樹脂パーツキーパー
- ●超撥水ガラスコーティング

KeePer技研株式会社

コーティングオプション 作業の流れ

（例）EXキーパー 作業時の場合	レンズコーティング	ホイールコーティング	無塗装樹脂パーツキーパー	超撥水ガラスコーティング
洗車	洗車	ホイールクリーニング	洗車	洗車
脱脂工程	爆ツヤ		爆ツヤ	油膜取り
プライマーガラス				
VP326				
コーティングホールド			無塗装樹脂パーツキーパー （コーティングホールド）	
仕上げ	ポリカコート	ホイールコーティング2		ウィンドゥガラスフッ素
	作業方法はP3へ	作業方法はP4へ	作業方法はP6へ	作業方法はP8へ

レンズコーティング

レンズコーティングで使用するツール

- **ポリカコート**
- マイクロスポンジ
- ダイヤクロス
- 爆ツヤ
- 爆ツヤ専用小分けボトル
- スポンジ 青

※全てのレンズ類で2〜3パウチ使用

施工箇所

1 ヘッドライト
2 ウィンカー
3 フォグランプ
4 ハイマウントストップランプ
5 テールレンズ
6 リフレクター
7 バイザー（オプション）

STEP.1 洗車・脱脂工程

❶ 洗車を行い
全てのレンズ類を「爆ツヤ」で洗浄し
水で良く洗い流す

注意
● 「爆ツヤ」を水で良く洗い流すこと。

使用ツール
●爆ツヤ
●爆ツヤ専用小分けボトル
●スポンジ 青

❷ 「快洗Taoる」または「キーパークロス」で
レンズ類の水気を拭き取る

参考
● タオルで拭けない隙間の水は、
エアーガンで飛ばします。

使用ツール
●快洗Taoる

STEP.2 ポリカコート

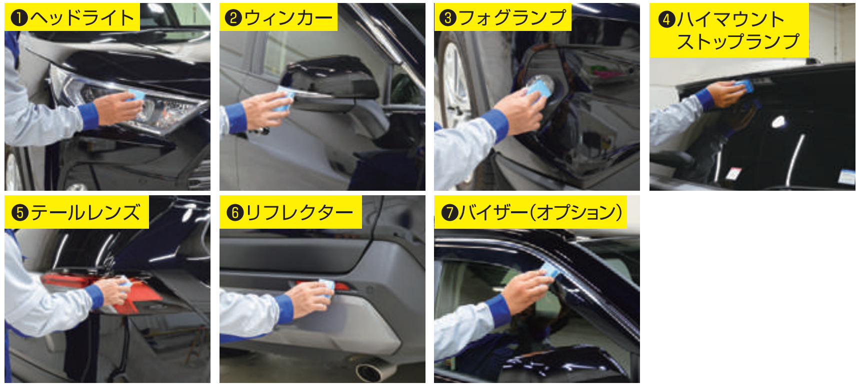
❶ 「ポリカコート」を
「マイクロスポンジ」に適量取り
ヘッドライトに満遍なく塗り広げる

参考
● ヘッドライト1個で「ポリカコート」半分程度を使用。
水気が垂れてきている場合は
「快洗Taoる」で拭き取ってから施工してください。

❷ 乾いた「ダイヤクロス」で拭き取る

参考
● 塗装面、ガラス面に「ポリカコート」が付いた場合は
一緒に拭き取ってください。

❸ 全てのレンズ類に❶❷の作業を行う



注意
● 施工後1時間以上、水がかからないようにすること。

❶ ホイールコーティング（シングル・ダブル）

ホイールコーティングで使用するツール

- ●ホイールコーティング2
- ●マイクロスポンジ
- ●ダイヤクロス
- ●ホイールクリーナー
- ●ホイール用スポンジ

施工箇所

●アルミホイール4本

※ホイール4本で4パウチ使用　**注意：マット塗装のホイールには施工できません。**

STEP.1　ホイールクリーニング

❶ ホイールを「ホイールクリーナー」で洗浄し
水で良く洗い流す

注意
- 「ホイールクリーナー」を水で良く洗い流すこと。

使用ツール
●ホイールクリーナー

❷ 「快洗Taoる」でホイールの水気を拭き取る

参考
- タオルで拭けない隙間の水は、
エアーガンで飛ばします。

使用ツール
●快洗Taoる

STEP.2　ホイールコーティング2

❶ 「ホイールコーティング2」を
「マイクロスポンジ」に適量取り
ホイール半分に満遍なく塗り広げる

参考
- ホイール半分で、「ホイールコーティング2」半分程度を使用。
- 水気が垂れてきている場合は
「快洗Taoる」で拭き取ってから施工してください。
- 細かい形状のホイールの場合は
「マイクロスポンジ」を斜めにカットして使用すると塗り広げやすくなります。

❷ 乾いた「ダイヤクロス」で拭き取り
残り半分にも❶❷の作業を行う

注意
- 「ホイールコーティング2」はとても
サラサラとした触り心地です。
そのため拭き残しが分かりづらいためクロス面を定期的に換える。隙間なく拭き上げることが重要。

❸ 別のキレイな「ダイヤクロス」で仕上げ拭きを行い
全てのホイールに❶〜❸の作業を行う
シングルの場合はここで作業終了

注意
- 施工後1時間以上、水がかからないようにすること。

もし、拭き残してしまったら…
拭き残しは時間が経つと白く残ります。
「硬化」して拭き取れない場合、「内窓クリーナー」で
ダイヤクロスを湿らせゆっくり拭き、再度施工してください。

拭き残し例

ホイールコーティング（ダブル）の場合

❶ STEP.1 〜 STEP.2 の作業を行う
❷ 硬化時間を1時間置く
❸ 再度、STEP.2 の作業を行う

注意
- 施工後1時間以上、水がかからないようにすること。

❷ ホイールコーティング（マットホイール）

マットホイールコーティングで使用するツール

●KeePerマット塗装ホイール用「ヤギ毛ブラシ」
●ダイヤモンドキーパーケミカル
●レジン2
●スポンジ（黄）
●レジン用スポンジ
●ダイヤクロス
●レジンクロス
●ホイールクリーナー
●ホイール用スポンジ

（ヤギ毛ブラシ）

施工箇所

●マットホイール4本

※コーティングの作業内容はクリスタルキーパーと同じです。拭き上げ作業後に「ヤギ毛ブラシ」を使用します。

STEP.1 ホイールクリーニング

❶ 「ホイールクリーナー」と「ホイール用スポンジ」でホイールを洗浄し、水で良く洗い流す

⚠ 注意
● 「ホイールクリーナー」を水で良く洗い流すこと。

使用ツール
●ホイールクリーナー

STEP.2 ガラスコーティング

ホイールが濡れた状態で作業を行ってください。

❶ 水で濡らし固く絞った「スポンジ（黄）」に「ダイヤモンドキーパーケミカル」をスプレーし満遍なく塗り広げる

❷ 「ダイヤクロス」で拭き上げる
❸ 全てのホイールに❶〜❷の作業を行う
❹ エアーガンで隙間の水を飛ばし、拭き取る

参考
● ケミカルが硬化する前に拭き上げてください。

❺ 「ヤギ毛ブラシ」でコーティング被膜をタテヨコナナメに掻き出す

⚠ 注意
● 「ヤギ毛ブラシ」は都度ダイヤクロスのキレイな面で余分なケミカルを拭き取る。

STEP.3 レジンコーティング

ホイールが乾いた状態で作業を行ってください。

❶ 「レジン用スポンジ」に「レジン2」を適量付け、満遍なく塗り広げる

参考
● スポンジを斜めにカットして使用すると塗り広げやすくなります。

❷ 「レジンクロス」で拭き上げる
❸ 全てのホイールに❶〜❷の作業を行う

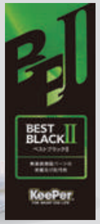
❹ 「ヤギ毛ブラシ」でコーティング被膜をタテヨコナナメに掻き出す

⚠ 注意
● 「ヤギ毛ブラシ」は都度レジンクロスのキレイな面で余分なケミカルを拭き取る。

❶ 無塗装樹脂パーツキーパー

無塗装樹脂パーツキーパーで使用するツール

- ●ベストブラックⅡ
- ●マイクロスポンジ
- ●ダイヤクロス
- ●爆ツヤ
- ●爆ツヤ専用小分けボトル
- ●スポンジ 青



施工箇所

- ●全ての無塗装樹脂パーツ
- ●または各パーツ単品施工
  （フェンダー・ワイパーカウル・メッシュグリル等）

STEP.1 洗車・脱脂工程

❶ 洗車を行い
無塗装樹脂パーツを「爆ツヤ」で洗浄し
水で良く洗い流す

⚠ 注意
● 「爆ツヤ」を水で良く洗い流すこと。

使用ツール
●爆ツヤ
●爆ツヤ専用小分けボトル
●スポンジ 青

❷ 「快洗Taoる」で無塗装樹脂パーツの水気を拭き取る

⚠ 注意
● 水気が残っているとコーティングのムラ付きの
原因になるため、しっかりと拭き取ること。

参考
● タオルで拭けない隙間の水は、
エアーガンで飛ばします。

使用ツール
●快洗Taoる

STEP.2 無塗装樹脂パーツキーパー

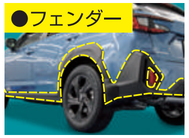
❶ 「ベストブラックⅡ」を
「マイクロスポンジ」に適量取り
無塗装樹脂パーツ約1m幅に
満遍なく塗り広げる

参考
● 液剤がサラサラしているため「マイクロスポンジ」に取り過ぎないようにしてください。
● 水気が垂れてきている場合は「快洗Taoる」で拭き取ってから施工してください。

❷ 乾いた「ダイヤクロス」で拭き取る

参考
● 塗装面、ガラス面に「ベストブラックⅡ」が付いた場合は
一緒に拭き取ってください。

❸ 全ての無塗装樹脂パーツに❶❷の作業を行う



⚠ 注意
● 施工後6時間以上、水がかからないようにすること。

❹ 全体に施工したら、塗り漏れ、ムラ付きが無いか確認

⚠ 注意
● コーティングの塗り漏れ、ムラ付きがある場合は、
再度コーティングを施工すること。

※各パーツ単品施工の場合は
STEP1・2 を注文を受けたパーツのみに行います。

次のページへ

❷ 無塗装樹脂パーツキーパー（コーティングホールド）

STEP.3　6時間の自然硬化またはコーティングホールド

6時間の自然硬化、
もしくは「コーティングホールド」の作業を行う

参考
- 「コーティングホールド」を施工した場合、
雨天でも硬化時間を待たずに引き渡しが可能です！

注意
- 「コーティングホールド」はベストブラックⅡ施工後、
必ず「10分間置いてから」作業する

【コーティングホールドを行う場合の使用ツール
(上)コーティングホールド、コーティングホールド用蓄圧式スプレー、キーパークロス
(下)純水、純水用蓄圧式スプレー、快洗Taoる

---

❶ **樹脂パーツに「コーティングホールド」を**
蓄圧式スプレーで噴霧する

---

❷ **「コーティングホールド」を噴霧した「キーパークロス」で**
ベストブラックⅡを拭き押さえる

---

❸ **ベストブラックⅡに**
蓄圧式スプレーなどで「純水」をたっぷりかける

---

❹ **「快洗Taoる」で、ボディにかけた**
「純水」を拭き上げる

---

❺ **窓、レンズ類、樹脂パーツを、**
水で固く絞った「キーパークロス」で拭き上げる

---

❻ **水滴残りがないか確認する**

超撥水ガラスコーティング

超撥水ガラスコーティグで使用するツール

- ●ウィンドゥガラスフッ素
- ●専用スポンジ
- ●グラスポリッシャーSiC2
- ●レジン2専用スポンジ（推奨）
- ●ダイヤクロス
- ●キーパークロス

施工箇所

- ●窓ガラスフロント
- ●または窓ガラス全面

※運転支援システム「アイサイト」搭載車はフロントガラスへの塗布禁止。 ※フロントガラス約5～6台でウィンドゥガラスフッ素1本使用

STEP.1 洗車・油膜取り

❶ 洗車もしくは濡れたタオルで汚れを拭き取った後スポンジをクロスで包み、「SiC2」をつける

参考
- スポンジの硬い面(推奨:レジン用スポンジなど)をダイヤクロスで包む。

❷ 縦横に擦りながら油膜を除去する

注意
- ゴム部分、塗装面に「SiC2」が付かないようにすること。
- プラスチックガラスやミラーには使用できません。

❸ 水で洗い流す。もしくは濡れたタオルで拭き取り、油膜が取れたか確認し、水滴を拭き取る。

参考
- タオルで拭けない隙間の水は、エアーガンで飛ばします。
- 濡れタオルで拭いた際、画像左側のように水が全く弾かなくなればOK

STEP.2 ウィンドゥガラスフッ素

❶ 「ウィンドゥガラスフッ素」をティッシュペーパーを巻いた「専用スポンジ」に適量取りフロントガラス1/4を1スパンとしタテヨコに満遍なく塗り広げる

参考
- 適量は、塗布面のティッシュ全体が湿る程度です。
- 水気が垂れてきている場合は「快洗Tao る」で拭き取ってから施工してください。

❷ 残りのフロントガラス3/4に❶の作業を行い15分以上乾燥させる

❸ 乾いた「キーパークロス」でしっかりと拭き上げる

注意
- 施工後1時間以上、水がかからないようにすること。

※窓ガラス全面の場合は STEP1、2 を窓ガラス全面に行います。